



イマジンロータリー

IMAGINE  
ROTARY

1963年3月23日創立 週報2858号 第2905回例会

2023年(令和5年)3月1日

第2730地区 鹿児島西ロータリークラブ

3月は水と衛生月間です

2022-23年度  
国際ロータリー会長  
ジェニファーE. ジョーンズ

会長 堂園 光一郎 幹事 永田 健吾 会報雑誌委員長 萩原 徹

◆例会場 〒892-0828 鹿児島市金生町3-1 山形屋7F 社交室 毎週水曜日 12:30~13:30

◆事務所 〒892-0828 鹿児島市金生町3-13-5F TEL:099-223-5902 FAX:099-223-7507

本日の主要  
プログラム 賀寿の宴 18:30~ ホテル・レクストン鹿児島

- ① ロータリーソング(奉仕の理想)
- ② 会長あいさつ
- ③ 会務報告
- ④ 出席報告
- ⑤ ニコニコBOX披露

## 賀寿の祝い2023

会長 堂園 光一郎

「長寿祝い」の概念は中国から伝えられたとされています。紀元前550年頃孔子が説いた儒教では、敬老思想や長寿を尊ぶことが良しとされています。子曰く「吾、十有五にして学に志す、三十にして立ち、四十にして惑わず、五十にして天命を知り、六十にして耳順、七十にして心の欲する所に従いて矩を踰えず」という、有名な言葉を一度は聞いたことがあると思います。

この言葉は日本にも伝わり、奈良から平安時代にかけては40歳(四十賀)、50歳(五十賀)、60歳(六十賀)をそれぞれ長寿の年として、貴族の間でお祝いする風習が生まれました。この頃は唐末から宋代の流行にならって、詩を贈ることで長寿を祝う風習があったとされています。

70歳以降の長寿祝いが生まれた平均寿命が短い平安時代に、なぜ70歳以降の長寿祝いが生まれたのかは107歳まで生きた、平清盛のひ孫・藤原貞子の存在が大きいとされています。天皇一族である藤原貞子の長寿祝いをしないわけにはいかず、新しい長寿祝いとして古希や喜寿が設定されたという説が有力で

す。古希・喜寿・米寿・白寿のテーマカラーが紫色であるのは、当時高貴な身分の人しか着られなかった紫色の衣装を藤原貞子が着ていたためとされています。ちなみに77歳の喜寿や88歳の米寿祝いが生まれたのもこの頃です。長寿祝い発祥の中国では昔から「ぞろ目」を不吉な数字と捉えていて、この年にはお祝いすることで厄払いをしようと考えていました。ひな祭り(3月3日)や端午の節句(5月5日)もこの思想によって生まれたとされています。

還暦祝いが生まれたのは江戸時代と比較的最近です。干支が60年で一周し、「暦が還る」という意味で「還暦」と名付けられました。他の長寿祝いは数え年で行うのに、還暦祝いは満年齢60歳でお祝いするのはそのためです。さらに江戸時代には戦はなくても、火事や伝染病などの病気で死が常に隣り合わせであり、長命をありがたいと感じる意識が高かったためにこのような祝い事が生まれたと推測されています。

賀寿を迎えるロータリアンの諸先輩におかれましてはおめでとうございます。

